令和6年度第2期 大阪市スポーツ振興計画施策にかかる有識者会議 議事要旨

○委員会の概要

日 時：令和6年10月16日（火）午前11時30分～午後1時22分

場 所：大阪市中央卸売市場本場業務管理棟 9階会議室

出席者：

【委員】相原委員、大井委員、岡崎委員、（五十音順）

【大阪市】林スポーツ部長、森本スポーツ課長、岩槻スポーツ事業担当課長、
西浦スポーツ施設担当課長、城戸大阪マラソン担当課長、
濱武スポーツ課長代理

○議題

- （1）第2期大阪市スポーツ振興計画の進捗状況について
- （2）万博後のスポーツ施策について

○会議要旨

- （1）第2期大阪市スポーツ振興計画の進捗状況について

大阪市からの説明に対し、各委員から以下のとおり意見があった。

〔主な発言内容〕

- ・ウォーキングなどの場所を選ばない身近で手軽な運動など、健康を意識した取組みも広義のスポーツとして捉え、それらを始める機会を提供することが重要。
- ・機会を周知するための情報発信も強化する必要がある。受動的にでも情報に接することができるように関係機関との連携を図ることが重要。
- ・情報に接してイベント等に参加された方に継続して参加していただくためには、スポーツに接することができる場所や機会に関する情報発信が必要。
- ・スポーツとは捉えないが、映像配信等を活用した家庭や友人同士での健康維持のための取組みは広まっているのではないかと、健康に対して何か行動を行っているか等も含めていくと、数値は変わってくるように感じる。
- ・大阪らしい魅力を活用し、楽しく体を動かす機会やコミュニティづくりのきっかけを提供していくことが重要。
- ・スポーツ施設の魅力向上については、最近の学会でも多く取り上げられている。箱物行政とならないよう、まちづくりやコミュニティの形成、市民が普段も利用するようなシンボリックな施設を目指して検討を進めてほしい。

- （2）万博後のスポーツ振興施策について

万博の開催効果を活用した今後のスポーツ振興施策について、各委員から以下のとお

り意見があった。

〔主な発言内容〕

- 健康づくりに向けて、万博で展示された様々な技術やレガシーを、どうスポーツ実施率の向上につなげていくのかが重要。
- 多様化の時代に対応すべく、画一的な施策ではなく、様々な興味関心にあわせた取組みができるようなツールに期待したい。
- スポーツ施設の魅力化については、地域に根づいたアクティビティやイベントなどまちづくりを含めて大阪市独自の取組みを進めてもらいたい。スポーツについて先進的に発信していく都市にしていきたい。
- 舞洲を中心に万博開催効果を活かしたイベントの開催等で健康増進を目指していきたい。
- 万博後のまちづくりとして、舞洲のスポーツ拠点としての可能性も検討していきたい。